

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D. I. を中心として分析を行っています。

今回の調査は、令和6年4月～6月期の業況実績と、令和6年7月～9月期の見通しについて、管内495先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D. I (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

◇◆◇ 調査概要 ◇◆◇

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	149	133	89.3	29.7
卸売業	23	23	100.0	5.1
小売業	139	119	85.6	26.6
サービス業	83	78	94.0	17.4
建設業	80	79	98.8	17.6
不動産業	21	16	76.2	3.6
合計	495	448	90.5	100.0

◇◆◇ 業況概要 ◇◆◇

	令和5年			令和6年		
	4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	1 - 3月 前期	4 - 6月 今期	7 - 9月 見通し
全業種	△12.6	△8.5	△4.9	-	△9.2	△8.9
製造業	△11.7	△15.4	△11.8	-	△24.1	△20.3
卸売業	△16.7	△15.8	4.8	-	△30.4	△39.1
小売業	△11.8	△4.6	△5.3	-	△12.6	△10.1
サービス業	△21.8	△13.4	△13.3	-	△15.4	△19.2
建設業	△6.2	3.9	16.0	-	27.8	26.6
不動産業	△5.0	△5.9	△5.6	-	18.8	12.5

※「令和6年1-3月」については令和6年能登半島地震の影響から調査実施しておりません。

一般業種

製造業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△24.1と悪化した。

来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△20.3と改善を予測している。

来期、業況は改善するとみているが、売上・資金繰り・人手は悪化の予測となっており、資金不足・人員不足の解決が急務となっている。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△20.3	△8.8	△11.4	△11.7	△15.4	△11.8	-	△24.1	△20.3
売上	△15.2	2.2	△12.9	6.9	△2.9	9.7	-	0.8	△5.3
収益	△21.7	△5.1	△17.1	△12.4	△18.4	△12.5	-	△9.0	△7.5
資金繰り	△11.6	△9.6	△10.0	△4.8	△9.6	△11.8	-	△12.8	△16.5
人手	△5.1	△8.8	△6.4	△5.5	△6.6	△6.9	-	△12.0	△13.5
設備	△3.6	△3.7	△3.6	△4.1	△4.4	△2.8	-	△15.0	△14.3
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
原材料高			16.0%		提携先を見つける			24.8%	
売上の停滞・減少			13.5%		販路を広げる			18.5%	
輸入製品との競争の激化			10.8%		経費を節減する			14.8%	

卸売業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△30.4と悪化した。

来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△39.1と悪化を予測している。

来期は売上・収益が大幅に悪化するとみていることから業況の悪化を予測している。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△18.2	△14.3	△14.3	△16.7	△15.8	4.8	-	△30.4	△39.1
売上	9.1	4.8	9.5	4.2	△15.8	4.8	-	21.7	△4.3
収益	△22.7	△14.3	△14.3	△25.0	△31.6	0.0	-	13.0	△8.7
仕入価格	45.5	57.1	42.9	50.0	10.5	23.8	-	17.4	17.4
在庫	△4.5	△9.5	△9.5	0.0	△5.3	0.0	-	△17.4	△17.4
資金繰り	△18.2	△23.8	△19.0	0.0	0.0	0.0	-	△13.0	△8.7
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
合理化の不足			21.4%		提携先を見つける			25.0%	
売上の停滞・減少			16.1%		販路を広げる			21.2%	
取引先の減少			10.7%		経費を節減する			17.3%	

小売業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△12.6と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△10.1とやや改善を予測している。
 来期は資金繰り以外の項目で悪化を予測し、販売価格は下降するとみているが、
 業況はやや改善を予測している。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△27.5	△20.4	△19.7	△11.8	△4.6	△5.3	-	△12.6	△10.1
売上	△13.8	△7.3	△11.7	△5.9	11.5	7.5	-	21.8	7.6
収益	△22.5	△12.4	△15.3	△16.2	0.8	0.8	-	11.8	△0.8
販売価格	28.3	34.3	16.1	27.9	34.6	27.8	-	21.0	12.6
在庫	0.7	0.7	△5.1	△0.7	1.5	3.8	-	△0.8	△1.7
資金繰り	△8.7	△11.7	△6.6	△13.2	△9.2	△0.8	-	△9.2	△8.4
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
地価の高騰			20.4%		経費を節減する			24.6%	
商圈人口の減少			15.6%		仕入先を開拓。選別する			23.5%	
売上の停滞・減少			15.3%		宣伝・広告を強化する			10.8%	

サービス業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△15.4と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△19.2と悪化を予測している。
 来期は料金価格が横這いの予想である以外全ての項目で悪化を予想している。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△19.3	△17.6	△14.3	△21.8	△13.4	△13.3	-	△15.4	△19.2
売上	△14.5	△5.9	3.6	△23.0	△9.8	△3.6	-	17.9	△6.4
収益	△9.6	△5.9	3.6	△21.8	△12.2	△8.4	-	6.4	△11.5
料金価格	10.8	15.3	8.3	8.0	12.2	15.7	-	9.0	9.0
資金繰り	△7.2	△5.9	0.0	△8.0	△6.1	△2.4	-	△14.1	△15.4
設備	△6.0	△3.5	△2.4	△9.2	△2.5	△2.4	-	△21.8	△23.1
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
利幅の縮小			15.0%		提携先を見つける			27.5%	
代金回収の悪化			14.0%		経費を節減する			17.1%	
商圈人口の減少			12.0%		販路を広げる			15.6%	

建設業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して27.8と改善した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は26.6とほぼ横這いを予想している。
 来期は業況・売上・収益・請負価格・人手は悪化する予想であり、人手不足が喫緊の課題である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
業況	△5.1	△12.0	△12.2	△6.2	3.9	16.0	-	27.8	26.6
売上	△5.1	△10.8	0.0	△3.8	18.2	17.3	-	44.3	35.4
収益	△10.3	△16.9	△3.7	△15.0	5.2	9.3	-	38.0	29.1
請負価格	14.1	26.5	15.9	15.0	18.2	13.3	-	34.2	22.8
資金繰り	△7.7	△18.1	△2.4	0.0	5.2	4.0	-	1.3	1.3
人手	△7.7	△14.5	△4.9	△5.0	△10.4	△20.0	-	△41.8	△44.3
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
人件費以外の経費の増加			16.4%		技術力を高める			19.2%	
人手不足			12.3%		経費を節減する			15.3%	
材料価格の上昇			10.5%		人材を確保する			15.3%	

不動産業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して18.8と改善した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は12.5と悪化を予想している。
 来期は売上・収益が大幅に悪化し、他の項目は横這いの予想となっている。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
業況	4.8	△4.8	△4.8	△5.0	△5.9	△5.6	-	18.8	12.5
売上	4.8	9.5	△9.5	△25.0	△11.8	△5.6	-	37.5	6.2
収益	9.5	9.5	0.0	△25.0	△11.8	0.0	-	37.5	6.2
販売価格	19.0	23.8	4.8	0.0	0.0	22.2	-	18.8	18.8
在庫	△19.0	△9.5	△4.8	△10.0	△5.9	0.0	-	△12.5	△12.5
資金繰り	△19.0	△9.5	0.0	△5.0	0.0	△5.6	-	0.0	0.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
同業者間の競争の激化			53.8%		宣伝・広告を強化する			17.1%	
商品物件の高騰			23.1%		販路を広げる			14.6%	
利幅の縮小			15.4%		経費を節減する			14.6%	

地場産業

能登地区の縫製業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△25.0と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は50.0と大幅な改善を予想している。
 来期は売上・人手が悪化するが、他の項目は横這いの予想となっている。
 今後業況の改善傾向維持には、人手不足の解消が必須である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-	△25.0	50.0
売上	0.0	0.0	△25.0	50.0	△25.0	△25.0	-	50.0	25.0
収益	△25.0	0.0	△25.0	50.0	△25.0	△25.0	-	25.0	25.0
資金繰り	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
人手	△25.0	△75.0	△50.0	△50.0	△50.0	△50.0	-	△25.0	△50.0
設備	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△25.0	0.0	-	0.0	0.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
売上の停滞・減少			9.1%		新製品・技術を開発する			42.9%	
人手不足			9.1%		販路を広げる			28.6%	
大手企業との競争の激化			9.1%		情報力を強化する			14.3%	

能登地区の電子部品・半導体製造業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△20.0と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△20.0と横這いの推移を予測している。
 来期は売上・収益が悪化し、それ以外の項目は横這いの予想となっている。
 例年であれば改善する時期であるため、今後の動向には注視が必要である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△33.3	△33.3	0.0	0.0	25.0	0.0	-	△20.0	△20.0
売上	△33.3	△66.7	△50.0	0.0	25.0	25.0	-	20.0	0.0
収益	0.0	△33.3	△25.0	0.0	25.0	25.0	-	20.0	0.0
資金繰り	0.0	△33.3	△25.0	△25.0	△25.0	0.0	-	△20.0	△20.0
人手	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△25.0	-	△20.0	△20.0
設備	0.0	△33.3	△25.0	△25.0	△25.0	△25.0	-	△40.0	△40.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
輸入製品との競争の激化			23.1%		提携先を見つける			26.7%	
売上の停滞・減少			15.4%		経費を節減する			20.0%	
利幅の縮小			15.4%		情報力を強化する			20.0%	

能登地区の漆器業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△28.6と改善した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△28.6と横這いの推移を予想している。
 来期は売上・収益・設備は改善するが人手の悪化を予想。業況は横這いを予想している。業況改善には、人手不足の解消が必須である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△33.3	16.7	△33.3	33.3	△50.0	△50.0	-	△28.6	△28.6
売上	△16.7	16.7	△16.7	16.7	△25.0	△50.0	-	0.0	14.3
収益	△33.3	16.7	△16.7	0.0	△25.0	△37.5	-	0.0	14.3
資金繰り	△50.0	△33.3	△33.3	0.0	△12.5	△37.5	-	0.0	0.0
人手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	△28.6	△42.9
設備	0.0	△16.7	△16.7	0.0	0.0	△12.5	-	△57.1	△42.9
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
売上の停滞・減少			15.0%		提携先を見つける			20.0%	
輸入製品との競争の激化			15.0%		人材を確保する			20.0%	
人件費の増加			15.0%		工場・機械を増設・移転する			20.0%	

能登地区の木材業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△20.0と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△20.0と横這いの推移を予想している。
 来期は全項目において今期の数値全てが横這いになると見込んでおり、現状維持で推移すると予測している。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△50.0	△40.0	16.7	△16.7	△33.3	0.0	-	△20.0	△20.0
売上	△37.5	△40.0	16.7	△16.7	△16.7	0.0	-	△20.0	△20.0
収益	△37.5	△40.0	16.7	△16.7	0.0	0.0	-	△20.0	△20.0
資金繰り	△25.0	△20.0	△16.7	0.0	0.0	△16.7	-	0.0	0.0
人手	△12.5	0.0	△33.3	0.0	△16.7	0.0	-	0.0	0.0
設備	△12.5	0.0	0.0	△16.7	0.0	0.0	-	△40.0	△40.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
合理化の不足			23.1%		提携先を見つける			26.7%	
売上の停滞・減少			15.4%		販路を広げる			20.0%	
人手不足			15.4%		経費を節減する			13.3%	

能登地区の建具業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△55.6と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△55.6と横這いの推移を予測している。
 来期は売上・収益・資金繰りが改善し、人手と設備については横這いを予測。
 業況は芳しくないが、改善傾向にある。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
業況	△33.3	0.0	△9.1	△40.0	△33.3	△36.4	-	△55.6	△55.6
売上	△33.3	0.0	△36.4	△30.0	33.3	△18.2	-	△33.3	0.0
収益	△33.3	0.0	△27.3	△50.0	△33.3	△36.4	-	△22.2	0.0
資金繰り	△22.2	0.0	△18.2	△10.0	0.0	0.0	-	△11.1	0.0
人手	△11.1	0.0	0.0	0.0	△33.3	0.0	-	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	△11.1	△11.1
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
売上の停滞・減少			25.0%		販路を広げる			28.6%	
同業者間の競争の激化			18.8%		情報力を強化する			19.0%	
地場産業の衰退			12.5%		新製品・技術を開発する			19.0%	

能登地区の織布業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△5.9と改善した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は0.0と改善を予想している。
 来期は売上が悪化するも、収益・人手・設備は改善され、資金繰りは横這いを
 予測している。震災前よりも資金繰りが改善したことが業況の改善につなが
 っている。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
業況	△23.5	5.6	△10.0	△15.8	△16.7	△23.5	-	△5.9	0.0
売上	△17.6	22.2	0.0	36.8	11.1	29.4	-	29.4	17.6
収益	△17.6	22.2	0.0	△26.3	△61.1	△35.3	-	△35.3	11.8
資金繰り	△17.6	△11.1	△20.0	△15.8	△11.1	△23.5	-	△5.9	△5.9
人手	△5.9	△11.1	△15.0	△15.8	△11.1	△17.6	-	△17.6	△11.8
設備	0.0	△5.6	△5.0	0.0	△5.6	0.0	-	△11.8	△5.9
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
原材料高			19.2%		販路を広げる			23.1%	
利幅の縮小			15.4%		提携先を見つける			17.3%	
人件費の増加			15.4%		情報力を強化する			13.5%	

能登地区の繊維・雑品業

今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して0.0と横這いの推移となった。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は0.0と横這いの推移を予測している。
 来期は売上・収益・資金繰りは悪化、その他の項目は横這いを予測している。
 例年通りの推移ともみられるが、震災後であるため動向の注視が必要である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△8.3	△8.3	△8.3	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
売上	△8.3	△8.3	△8.3	16.7	9.1	9.1	-	40.0	10.0
収益	△8.3	△8.3	△8.3	16.7	0.0	△18.2	-	50.0	20.0
資金繰り	0.0	0.0	0.0	33.3	△9.1	△36.4	-	0.0	△20.0
人手	8.3	8.3	8.3	0.0	9.1	0.0	-	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
原材料高			71.4%		提携先を見つける			30.4%	
同業者間の競争の激化			57.1%		経費を節減する			26.1%	
売上の停滞・減少			14.3%		情報力を強化する			17.4%	

能登地区の観光業

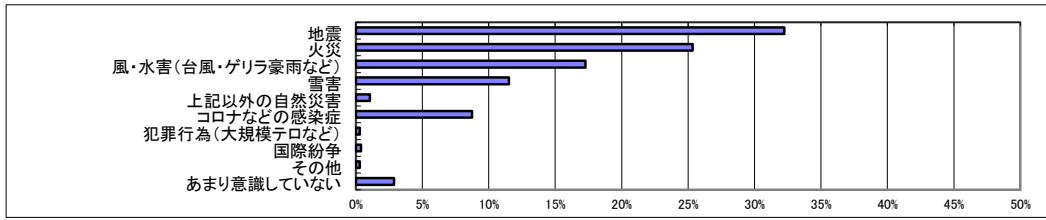
今期（R6.4～6月）の業況D.I.は前々回と比較して△50.0と悪化した。
 来期（R6.7～9月）の業況D.I.は△40.0と改善を予測している。
 来期は売上が悪化、資金繰り・設備は横這い、料金価格は上昇と予測している。
 今後の先行きは不透明である。

	令和4年		令和5年				令和6年		見通し
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
業況	△8.3	0.0	△50.0	△61.5	△16.7	△23.1	-	△50.0	△40.0
売上	25.0	28.6	△14.3	△53.8	△8.3	△23.1	-	20.0	△10.0
収益	25.0	7.1	△14.3	△53.8	△16.7	△30.8	-	10.0	△10.0
料金価格	16.7	14.3	14.3	0.0	8.3	15.4	-	△10.0	30.0
資金繰り	8.3	0.0	0.0	△15.4	△8.3	7.7	-	△30.0	△30.0
設備	△8.3	△7.1	0.0	△23.1	△8.3	△7.7	-	△70.0	△70.0
経営上の問題点					当面の重点施策（経営のポイント）				
材料価格の上昇			11.5%		販路を広げる			21.4%	
地場産業の衰退			11.5%		提携先を見つける			21.4%	
売上の停滞・減少			7.7%		経費を節減する			17.9%	

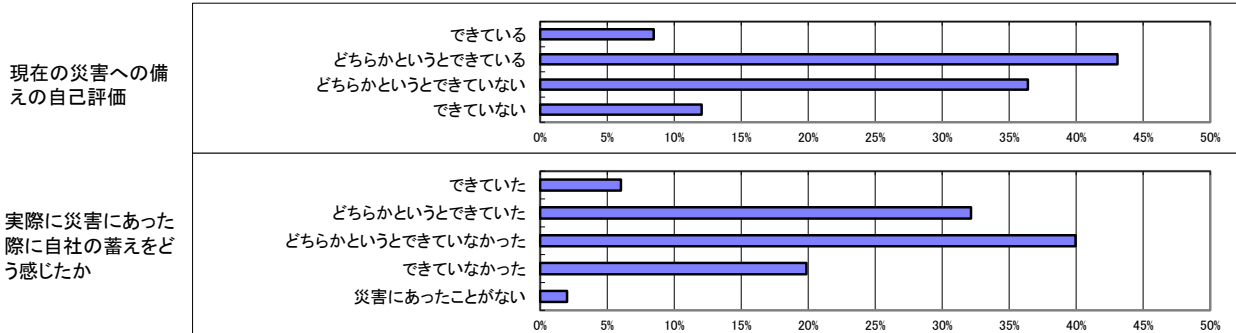
【中小企業における災害等への対応について】

特別調査

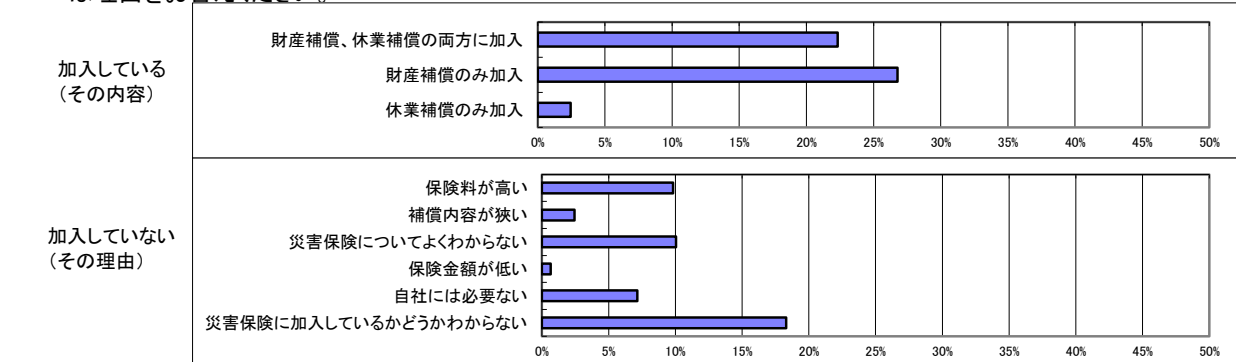
問1. 普段どのような災害を意識していますか。



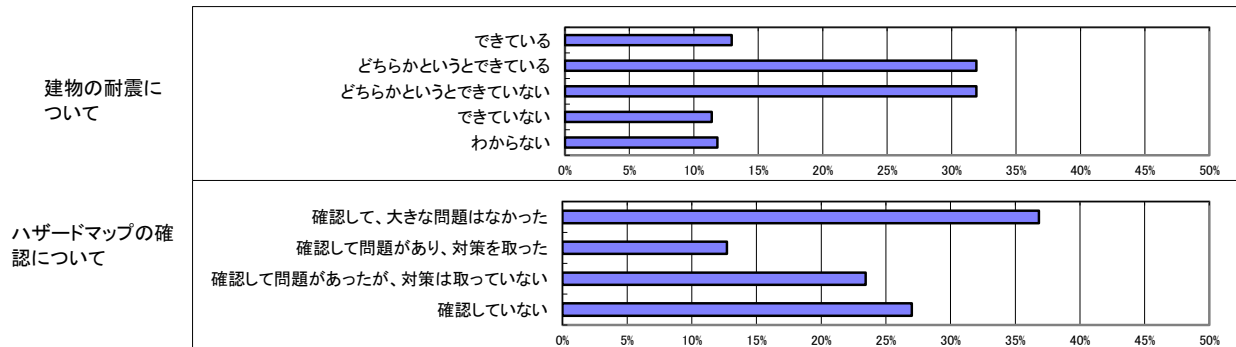
問2. 自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。



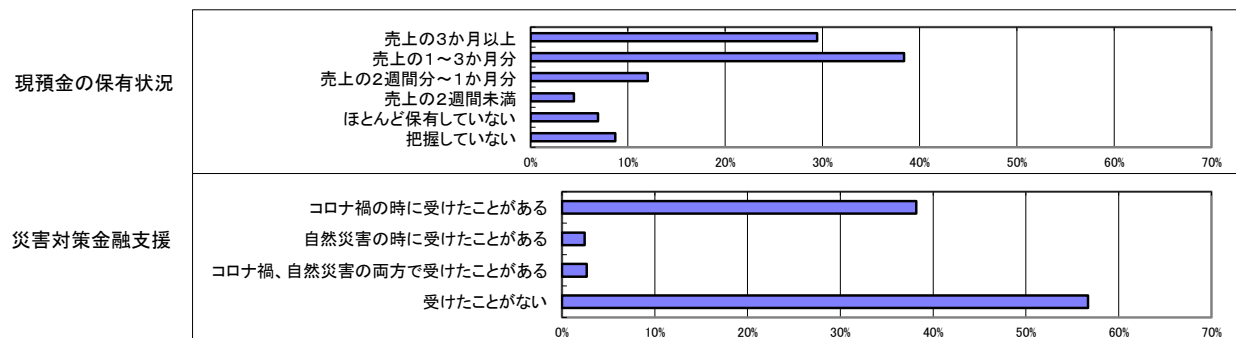
問3. 事業継続にかかる保険、具体的には財産補償(設備や店舗が損壊した時の補償)や休業補償(休業を余儀なくされた時の損害の補償)に加入されていますか。加入されている場合は内容について、また加入していない場合は理由をお答えください。



問4. 貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。また、自社所在地周辺のハザードマップ(洪水や土砂災害、地震・津波など)を確認していますか。状況についてお答えください。



問5. 災害への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前など)を想定したうえで、お答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援(災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など)を受けたことがありますか。



主要経済指標

◆ 労働 (時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
4年 8月	1.67	136.1	9.2
4年 9月	1.69	138.4	9.8
4年 10月	1.66	140.7	10.5
4年 11月	1.65	142.4	10.4
4年 12月	1.66	140.7	10.2
5年 1月	1.69	130.0	8.8
5年 2月	1.63	136.9	9.5
5年 3月	1.62	139.1	9.6
5年 4月	1.65	145.3	10.4
5年 5月	1.62	134.3	8.9
5年 6月	1.66	144.3	9.2
5年 7月	1.60	141.6	9.8
5年 8月	1.57	133.0	9.1
5年 9月	1.56	138.6	9.5
5年 10月	1.58	141.8	10.5
5年 11月	1.56	141.3	10.4
5年 12月	1.55	140.3	10.1
6年 1月	1.60	126.8	8.6
6年 2月	1.50	134.9	8.9
6年 3月	1.44	136.7	9.4
6年 4月	1.46	143.5	9.6

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	消費者物価指数	
	総合	前年同月比
4年 8月	102.5	2.6
4年 9月	102.9	2.7
4年 10月	103.2	3.0
4年 11月	103.4	3.3
4年 12月	103.6	3.5
5年 1月	104.2	4.1
5年 2月	103.4	2.6
5年 3月	103.8	2.8
5年 4月	104.7	3.3
5年 5月	104.7	3.1
5年 6月	105.1	3.8
5年 7月	105.7	3.6
5年 8月	106.2	3.6
5年 9月	106.4	3.4
5年 10月	107.2	3.9
5年 11月	107.1	3.6
5年 12月	106.8	3.1
6年 1月	107.2	2.8
6年 2月	106.8	3.3
6年 3月	107.2	3.3
6年 4月	107.9	3.0
6年 5月	108.2	3.3

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証 (百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
4年 11月	290	3,231	23,640	305,911
4年 12月	292	3,334	23,702	306,342
5年 1月	244	2,789	23,701	305,239
5年 2月	406	5,684	23,783	305,712
5年 3月	624	10,156	23,868	307,646
5年 4月	527	8,184	23,931	309,840
5年 5月	527	8,548	23,934	310,117
5年 6月	644	9,576	23,902	309,890
5年 7月	597	9,779	23,759	307,736
5年 8月	533	8,061	23,599	304,584
5年 9月	517	8,091	23,610	304,224
5年 10月	516	8,131	23,571	302,707
5年 11月	472	6,072	23,577	302,209
5年 12月	514	7,254	23,571	301,535
6年 1月	347	4,702	23,579	300,704
6年 2月	404	5,615	23,570	299,788
6年 3月	720	11,180	23,621	299,886
6年 4月	695	13,543	23,902	304,951
6年 5月	787	14,103	24,254	311,251
6年 6月	735	13,135	24,547	317,283

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数 (百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
4年 10月	7	585
4年 11月	4	500
4年 12月	5	330
5年 1月	2	100
5年 2月	1	35
5年 3月	6	180
5年 4月	1	150
5年 5月	6	1,212
5年 6月	6	263
5年 7月	3	688
5年 8月	4	111
5年 9月	4	376
5年 10月	2	9,400
5年 11月	8	675
5年 12月	8	712
6年 1月	3	870
6年 2月	6	125
6年 3月	9	742
6年 4月	6	115
6年 5月	8	264
6年 6月	4	274

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工 (千㎡、百万円)				
	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
4年 7月	132	23,646	627	47
4年 8月	86	20,462	511	48
4年 9月	84	16,598	591	54
4年 10月	90	21,380	607	55
4年 11月	77	15,421	497	48
4年 12月	89	20,251	378	38
5年 1月	56	12,111	321	30
5年 2月	65	18,303	394	38
5年 3月	69	14,168	488	46
5年 4月	149	53,428	471	45
5年 5月	69	17,883	433	43
5年 6月	78	20,091	494	45
5年 7月	130	40,526	535	50
5年 8月	102	26,888	480	46
5年 9月	91	31,439	448	39
5年 10月	67	15,981	494	41
5年 11月	67	17,657	465	41
5年 12月	65	16,724	378	38
6年 1月	49	96,401	247	23
6年 2月	44	11,306	277	26
6年 3月	66	15,268	306	32
6年 4月	59	13,604	412	41
6年 5月	64	15,037	407	39

◆ 公共工事請負金額 (件、百万円)		
	件数	請負金額
4年 7月	627	15,305
4年 8月	592	18,876
4年 9月	600	15,943
4年 10月	484	10,848
4年 11月	445	13,413
4年 12月	350	8,601
5年 1月	277	5,754
5年 2月	198	6,782
5年 3月	127	4,460
5年 4月	631	29,793
5年 5月	397	18,605
5年 6月	585	18,695
5年 7月	647	17,007
5年 8月	533	12,647
5年 9月	574	14,626
5年 10月	493	13,126
5年 11月	445	9,670
5年 12月	281	7,557
6年 1月	126	6,359
6年 2月	147	3,963
6年 3月	107	6,838
6年 4月	469	29,884
6年 5月	358	15,364
6年 6月	530	25,258

資料: 国土交通省(石川県内)

◆ 新車登録台数 (台)		
	普通自動車	軽自動車
4年 7月	2,418	1,513
4年 8月	2,051	1,266
4年 9月	2,785	1,751
4年 10月	2,464	1,555
4年 11月	2,472	1,785
4年 12月	2,172	1,497
5年 1月	2,367	1,564
5年 2月	2,964	1,805
5年 3月	5,044	2,572
5年 4月	2,416	1,468
5年 5月	2,319	1,382
5年 6月	2,815	1,548
5年 7月	2,834	1,491
5年 8月	2,246	1,473
5年 9月	3,061	2,030
5年 10月	2,792	1,780
5年 11月	2,906	1,769
5年 12月	2,405	1,392
6年 1月	1,797	1,167
6年 2月	2,214	1,287
6年 3月	3,701	1,888
6年 4月	2,076	1,166
6年 5月	2,119	1,301
6年 6月	2,547	1,573

資料: 石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数 (人)		
	和倉温泉	輪島温泉
4年 8月	73,700	18,700
4年 9月	49,388	14,000
4年 10月	57,583	17,100
4年 11月	63,402	17,100
4年 12月	52,440	10,700
5年 1月	34,945	6,600
5年 2月	37,993	8,100
5年 3月	62,114	14,600
5年 4月	47,156	12,600
5年 5月	50,208	15,900
5年 6月	43,332	11,800
5年 7月	43,195	11,700
5年 8月	77,422	19,600
5年 9月	51,668	16,300
5年 10月	61,072	15,600
5年 11月	65,123	18,300
5年 12月	-	-
6年 1月	-	-
6年 2月	-	-
6年 3月	-	-
6年 4月	-	-
6年 5月	10,536	-

資料: 北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高 (千㎡)	
	合計
4年 7月	20,470
4年 8月	21,400
4年 9月	23,537
4年 10月	22,227
4年 11月	24,867
4年 12月	21,583
5年 1月	21,157
5年 2月	21,985
5年 3月	24,333
5年 4月	22,674
5年 5月	22,611
5年 6月	24,053
5年 7月	22,854
5年 8月	21,812
5年 9月	22,535
5年 10月	23,439
5年 11月	23,177
5年 12月	20,366
6年 1月	16,488
6年 2月	21,537
6年 3月	21,290
6年 4月	20,217

資料: 石川県企画開発